

青い鳥

第66号 一発行一

令和2年4月24日

社会福祉法人 青い鳥
日本平学園
日本平ホーム

〒422-8004

静岡市駿河区国吉田6丁目7番24号

TEL (054) 265-3534

FAX (054) 265-3540

メールアドレス aoitori@lilac.ocn.ne.jp



令和二年一月九日（木）、日本平学園で後藤真吾さんと西村泰成さんの成人式が行われました。スーツ姿で登園する姿は、いつもと違い、大人になった雰囲気でした。後藤さんの出身校の静岡県立静岡北特別支援学校進路指導主事の土屋先生、西村さんの出身校の静岡大学教育学部附属特別支援学校の学年主任の國宗先生をお招きし、また、当法人理事長、役員出席の下、華やかな式となりました。

いつも笑顔の絶えない後藤さん、理事長や恩師からの祝辞を聞いて、いる姿は真剣で、時折緊張した表情をしていました。記念品贈呈の時には、それを手に取り、満面の笑顔を見せてくれました。

毎日元気いっぱいの西村さん、普段の笑顔とは違う、緊張した様子で話を聞いていました。懐かしい先生や、参加している利用者を見て、時折笑顔を見せてくれました。



利用者からの歌のプレゼントは、コブクロの「YELL～エール～」の合唱。当日まで練習してきた成果を存分に發揮出来たかと思います。また、合唱中には、一人が学園に入園してから二年間の学園生活をストライドショーにして流しました。作業風景や各行事に参加した際の姿など、普段は見られない学園での様子を見て、保護者の皆様より「感動しました。」との言葉をいただきました。

一生に一度の成人式、日本平学園でお祝いすることが出来て大変嬉しく思います。今後、お二人の更なるご活躍をお祈りすると共に、日々支援に努めてまいります。



クリスマス会

令和元年十二月十二日（木）、クリスマス会を開催しました。生活介護事業を利用する皆さん、午前中からレクリエーションをしてゆっくり過ごしました。今年度はサンタクロースが二名来てくれましたので、2チームに分かれて「箱の中に隠された小さな球をコンテナへ移すゲーム」を行いました。どちらのチームもサントクロースと一緒に力を合わせ、歓声を上げながら競い合いました。

サンタクロースは、午前中作業をしていた就労継続支援B型の作業室をサプライズ訪問。真剣に作業をしていた利用者の皆さん、拍手喝采で大喜びでした。

午後になると、毎年訪問してくださる静岡雙葉中学高等学校の生徒さんが大勢加わり、ミュージカルやクリスマスソングの合唱を披露してくれました。就労継続支援B型を利用する皆さんも、午後からレクリエーションに参加し「紅白カラオケ歌合戦」を行いました。歌を通して、温かく有意義なひと時を過ごしました。



令和二年二月二十八日（金）、地域交流会を実施しました。

東豊田中央こども園の園児さんと先生、東源台地区の住民の方々に参加していただきました。

今回は日本平学園の利用者さんと参加した皆さんと交流を深められるよう、三つのブースを設け、ゲームや作業体験を一緒に行いました。釣りやキックボーリング、和紙の作業体験を企画し、園児・地域の方が混合で3グループに分かれて1ブースずつ回りました。

キックボーリングでは、園児さんと地域の方がグループになり、ボールを蹴ってピンを倒しますが、地域の方が「よく狙ってね。」と園児さんに声を掛けると、狙いを定めてボールを蹴つていきました。見事倒すことができると大歓声が沸きました。

和紙づくり体験では、日ごろ利用者さんが取り組んでいる作業工程の体験をしていただきました。今回は牛乳パックのフィルムを剥がす工程を行いました。職員の説明を興味津々で聞き、取り組む際には真剣な眼差しで一枚一枚剥がし、終了の声が聞かれても夢中になつて取り組む方もみられました。

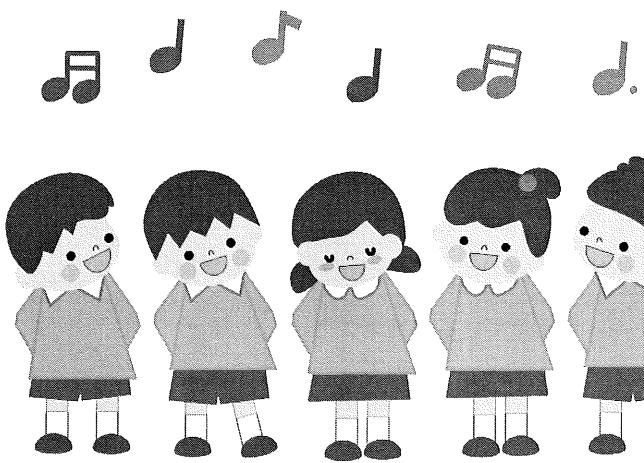
地域交流会

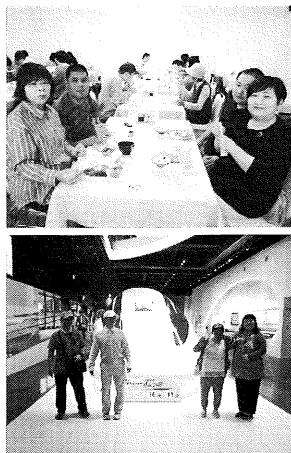
地域の方から「園児さんや利用者さんと交流ができる楽しい」とお言葉をいただきました。

ひとしきり楽しんだ後は、毎年恒例の園児さんによる演し物を披露していただき、大人気曲の「パプリカ」を歌と踊りで魅了しました。

交流会最後は、こちらも毎年恒例のお菓子まき！地域の方が「それ！」の掛け声で園児さんや利用者さんにお菓子をまき、みなさん夢中になってお菓子を袋に入れていました。

最後まで皆さんと楽しい時間を過ごせた交流会となりました。





令和元年十月十一日(金)の遠足は山梨方面に出掛けました。新しい中部横断道を通り、今まで見たことのない新鮮な景色を車窓から堪能しながら甲斐路を進みました。最初に訪れたのが、山梨県の名産品が盛り沢山の人気お土産エリアである「里の駅いちのみや」。ほうとうや信玄餅などの特産品の多さに圧倒され、何を選んだら良いか迷いながらも、皆さん笑顔で選んでいました。また郷土料理を満喫できる石和温泉のホテルでの昼食。バイキング形式で各自好きなものを選び、地元の味に舌包みしました。また今回のメインである話題の超電導リニア、時速500kmの世界を体感できる「リニア見学センター」。ここでは未来の乗り物「リニア」の走行が間近で見学でき、目を凝らしていないとあつという間に通り過ぎてしまう速さに圧倒され、歓声が上がっていました。また来年も、皆様に喜んで頂ける企画を立てますのでご期待ください。

本平学園に消防署の方々が来園してくださいなり、施設防災訓練が実施されました。当日は、他の消防署から予定していた消防署に緊急出動が入ったとの連絡があり、実施が危ぶまれましたが、連絡をしていただいた消防署の方々が急遽来園してくださることになり実施することができました。当日は、「起震車」の乗車体験をしました。東海地震で想定される震度7です。消防署の方の判断で、災害の状態に合わせて、震度5程度、震度6程度、震度7程度の三段階で実施されました。震度7程度の起震車の揺れでは、備え付けのテーブルにしつかりとしがみ付いていたけれど、振り落とされてしまうような揺れでした。利用者からは、「怖かった」との声が聞かれ、日頃の避難訓練の大切さを確認し合いました。

また、来園してくださった隊長の方から、地震が起こることを想定し普段から上靴などの足が守れるもの着用と、地震後の二次灾害から身を守るためのヘルメットの着用の重要性についてお話を頂きました。ご協力いただきました消防署の方々ありがとうございました。今後もより一層、利用者の安全を守れる避難訓練を実施していきたいと思います。

最大音量でいきなり放送が開始するラジオ



ラジオの電源がOFFの状態でも自動で起動し、また、他局の放送を聞いていても自動で割り込んで放送を開始してくれる優れものです。

令和元年十二月十三日(金)、保護者参加大掃除を実施しました。師走でご多忙の中、保護者の皆様に参加していただきました。普段、利用者さんが使用しているトイレや室内、室外の窓拭き等、日頃の清掃では手の届かないような場所まで綺麗にしていただきました。隅々まで清掃をしていただくと、気持ちも清々しくなり、綺麗な状態を維持していくこうという意識にも繋がります。

外部の方が施設を見学された際に『綺麗にされていますね。』とお言葉をいただくことがあります。でも保護者の皆様のご協力があるからこそだと思います。

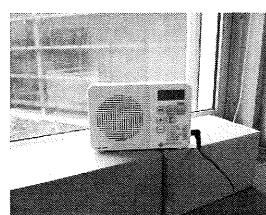
今後も日本平学園が綺麗さを保てるよう、日頃の清掃や保護者参加大掃除を続けていきたいと思います。

ご参加くださった保護者の皆様、本当にありがとうございました。

秋の親子遠足

施設防災訓練

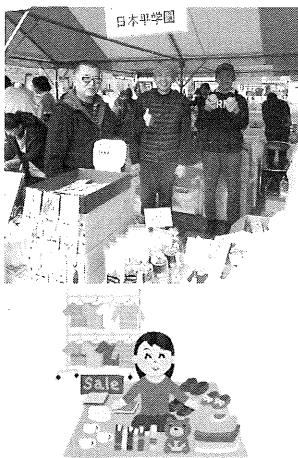
令和元年十一月二十五日(月)、岡市より緊急情報防災ラジオを購入し、各作業室に設置しました。このラジオは、全国瞬時警報システム(Jアラート)から配信される緊急地震速報・津波警報・気象警報など



保護者参加大掃除



【就労支援活動の紹介】 ～バザーや販売会への参加～



活動の目的は大きく2つあります。一つ目は、利用者の皆さんとのコミュニケーション能力を高めることです。販売の接客サービスを体験することで、普段接することのない地域住民の方やお客様に接することができました。このことは、意思疎通スキルの向上を図る上で、とても貴重な経験になると思います。毎回、お客様から「がんばってね！」との温かい励ましの言葉も頂いています。

二つの目的は、利用者の皆さんへの工賃を向上させることです。販売会で売れそうな商品を事前にリサーチして準備をし、多くの売上を目指します。販売の当日は、おすすめの商品などをアピールしています。普段は作業室内での仕事が多い為、外に出で働く機会を、今後も積極的に増やしたいと考えています。



健康診断だけでなく、希望者にはインフルエンザ予防接種を行いましたが、打つ前からそわそわして落ち着かない方も多かったです。山田医師と看護師さんに優しく声を掛けられ無事に予防接種を終えられました。

山田医師から教えていただいたダ

イエット食品を使った健康法や、日本平学園で毎日行うウォーキングを通じて、寒い冬の体調管理をしっかりと行なうことが出来ました。

運動しましょう。「食生活を変えてみてはいかがでしょうか。」など、一人ひとりに合った適切なアドバイスをいただきました。

度二回目の利用者健康診断を行いました。嘱託医の山田医師が、長年診察してくださっていますので、前回の健康診断の数値と何らかの変化があつた利用者の方へは、「もう少し運動しましょう」「食生活を変えてみてはいかがでしょうか。」など、一人ひとりに合った適切なアドバイスをいただきました。

利用者健康診断



また、今回リニューアルのメリットは雰囲気だけでなく、職員の労力コストの削減にも繋がっています。テーブルの脚に車輪がついている為、移動がしやすく且つ一人でも可能になりました。また、天板が床面と垂直に折り畳める為、収納が省スペースで済み、食堂で行う音楽療法や運動療法などのスペースの確保にも繋がっています。

また、少し前に二台のテーブルも交換しましたが、こちらは上下に伸縮するタイプで、スタンディングミーティングなどに便利です。

快適な環境の下、より一層利用者支援に注力したいと思います。

食堂のテーブルをリニューアルしました！

たくさんのご寄附ありがとうございました

(順不同)

東豊田中学校PTA様
静岡県保険医協会様
古紙セントラートヨタ様
フラワー薬局様
成島康子様
宮下輝明様
岩崎強様
安田敦様
川崎康子様
関谷啓子様
長澤克也様
杉山正二様
武田真良様
川崎茂夫様
鈴木啓子様
鈴木川崎哲也様
後藤小林慶子様
鈴木小林慶子様
漁田儀正様
鈴木秀直様
鈴木日俊子様
鈴木日俊子様
鈴木森川ます江様
鈴木奈保美様
みおつくし様
杉山工務店様

感謝



編集後記

行事やイベントの担当支援員の協力で、青い鳥第60号を無事に発行することが出来ました。利用者の皆さんは、多くの行事やイベントを通して多くの社会経験を積んでいます。ぜひ次号も楽しみにしていてください。